履行評価結果

			中間		年度末				
内	容	項目	業務名	業務 達成点	重要度 点	評価点	業務 達成点	重要度 点	評価点
			巡視点検業務	1	3	3	1	3	3
		│ │計画的維持管理	管路内簡易カメラ調査等業務(人孔を含む)	1	3	3	1	3	3
	1	前回的框符目埋	管路内目視調査業務	1	3	3	1	3	3
1	」	~ 7.77	公共汚水桝点検業務	1	3	3	1	3	3
レン	プッ		障害物除去業務	1	3	3	1	3	3
プッ		 計画的改築業務	計画的な改築に係る設計業務	1	3	3	1	3	3
1 .	<u></u>		計画的な改築業務	1	3	3	1	3	3
	評価	ストツクマイン メント 美 施	点検調査データ管理業務	1	3	3	1	3	3
	1244	計画関連業務	ストックマネシ、メント実施計画の見直し業務	-	-	ı	_	1	ı
			業務計画書及び報告書作成業務	1	3	3	1	3	3
			①小計	9	27	27	9	27	27
	ア	道路	陥没箇所数/対象管路延長	3	10	30	3	10	30
	評さ	詰ま	り発生件数/対象管路延長	3	10	30	3	10	30
	1曲 カ	Ż	告情件数/対象管路延長	3	10	30	3	10	30
	ム		②小計	9	30	90	9	30	90
	プ		巡視点検業務	0	2	0	0	2	0
		=1 = 65 00 00 10	管路内簡易カメラ調査等業務(人孔を含む)	2	2	4	2	2	4
		計画的維持管理 業務	管路内目視調査業務	1	2	2	1	2	2
			公共汚水桝点検業務	2	2	4	2	2	4
			障害物除去業務	1	2	2	1	2	2
広	セ	計画的改築業務	計画的な改築に係る設計業務	2	4	8	2	4	8
義	<u>ス</u>	引回的以采未伤	計画的な改築業務	1	4	4	1	4	4
ア	評	ストックマネジメント実施	点検調査データ管理業務	1	2	2	1	2	2
-	価	計画関連業務	ストックマネジメント実施計画の見直し業務	-	-	-	_	-	-
`		統括的管理業務	一元的統括管理業務	1	3	3	1	3	3
カ		机拍的各连条伤	業務計画書及び報告書作成業務	1	2	2	0	2	0
ム			③小計	12	25	31	11	25	29
	ア		緊急時対応の迅速性	1	3	3	1	3	3
	ク		点検調査データに基づくストマネ検討	1	3	3	1	3	3
	ーシー	企画提案に	日常的な巡視点検における情報蓄積・報告	1	3	3	1	3	3
	=	基づく任意業務	日常的維持管理業務支援マップの作成	1	3	3	1	3	3
	ン		効率的スクリーニング調査(自走式簡易カメラ)の活用	1	3	3	1	3	3
	評価		改築工事の品質確保に向けた取り組み(三者協議の開催)	1	3	3	1	3	3
	価		④ 小計	6	18	18	6	18	18
		(5)/	N計(=②+③+④)			139			137
		<u></u>	計(=①+⑤)			166			164

		中間評価点	年度末評価点	総合評価
1年目	2018.10-2019.3		162	1.5
2年目	2019.4-2020.3	154	148	1
3年目	2020.4-2021.3	168	166	1.5
4年目	2021.4-2022.3			
5年目	2022.4-2022.10			
	-	-	((4)

1枚ポートフォリオと目標達成シート(柏市)

対象年度

R2

1. 要求水準(目標)

目標	KPI
道路陥没数を減らす	道路陥没箇所数
管路閉塞による溢水件数を減らす	管路閉塞による溢水件数
苦情を減らす(悪臭, 蓋のガタツキなど)	苦情件数

2. 各業務評価点

満点50点

評価	項目	業務名	H 3 0 末	H 3 1 中間	H 3 1 末	R 2 中間	R 2末	R 3 中間	R 3 末	4	R 4 末
		巡視点検業務	-	2	2	2	2				
		管路内簡易カメラ調査業務(人孔含む)	6	4	4	4	4				
	計画的維持管理業務	公共汚水桝点検業務	6	4	4	2	2				
プ		管路内目視調査業務	3	4	4	4	4				
		障害物除去業務	3	2	4	2	2				٦
セース	計画的改築業務	計画的な改築に係る設計業務	0	8	4	8	8				П
評	可凹的以来未伤	計画的な改築業務	<u> </u>	4	4	4	4				
価	ストックマネジメント	点検調査データ管理業務	3	2	2	2	2				\Box
	実施計画関連業務	ストックマネジメント実施計画の見直し業務	<u> </u>	-	-	ı	-				
	————— 統括的管理業務	一元的統括管理業務	4	3	3	3	3				
	视节的各性未然	業務計画書及び報告書作成業務	2	2	2	2	2				
	# > + > 1/		† 27	35	33	33	33	0	0	0	0

3. 業務進捗状況

工種	種別	細目	単位	数量		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	巡視点検業務		m	139,086	計画実績		13,450 84,552	27,817 139,086	55,634	83,451	111,268	139,086					
	管路内カメラ	φ450以下	箇所	6.194	計画実績		61% 600 1.527	1,220 3,206	2,500 4,736	3,700 6,194	4,950	6,194					
	調査業務	Ψ 100 (χ.)	回加	0,104	進捗率計画		25% 100	52% 200	76% 300	100% 400	500	600	700	800	900	1.045	
計画的維 持管理業	管路内目視	目視	m	1,045	実績進捗率		0	326 31%	326 31%	558 53%	558 53%	685 66%	685 66%	1,045 100%		.,	
付目任未 務	調査業務	を主務 TVカメラ	m	20,476	計画実績		2,000 1,135	4,000 12,712	6,000 19,121	7,000 19,385	9,000 19,385	11,000 19,736	13,000 19,736	15,000 20,476	17,000	20,476	
					進捗率 計画		6% 100	62% 200	93% 300	95% 400	95% 500	96% 609	96%	100%			
	公共汚水桝点検	公共汚水桝点検	箇所	609	実績進捗率		0	232	609 100%	400	300	003					
	障害物除去業務		箇所	234	計画実績		32 0	57 33	97 67	102 117	106 117	131 117	156 142	181 151	205 151	234 167	
		φ350~400	m	196	計画実績		0%	14%	29%	50%	50%	50%	61%	65%	65% 165 98	71% 300 196	
			""	130	進捗率計画							29	53	53	50% 53	100% 53	940
計画的改 築業務	改築業務	φ450 ~ 1500	m	660	実績							29	53 8%	53 8%	53 8%	53 85	53 85
			m	238	計画実績							7.0	60 28	146 84	176 84	201 84	0.0
		2700*2160			進捗率								12%	35%	35%	35%	

【コメント】

【改築工事】

R2. 12進捗管理工程表 においての約10%の遅延に ついて原因及び対策検討

令和2年度分協定 (維持管理・改築)ともに 変更実施

(1)

①道路陥没を減らす,②閉塞による溢水を減らす,③苦情を減らすための実施事項 主な実施業務内容、発生した問題・対処法等のポイントについて記載

第一4坐期(4日~6日)

<u> </u>			
① 道路陥没を減らす 2 閉	閉塞による溢水を減らす ┃	③苦情を減らす	特筆すべき活動・その他業務
共通 四半期報告書によるアウトカム達 事項 に実績入力。達成状況確認。			・調査業務時に確認した破損等の異常対応(蓋交換)及び緊急性
箇所を発見し、報告した。報告 ルタル をもとに市が緊急修繕工事を行 し)がま	ル・油脂・取り付け管突き出 ある箇所に関して除去作業 ハ、閉塞による溢水を未然 いだ。	・作業案内配布のルール化及び 内容見直し。(市からの委託業 務であることの説明強化) ・JV内にて苦情情報の共有化。 ・点検後の蓋のガタツキ防止の ためクサビ使用推奨。	を要する事項の報告を行った。

第二4半期(7月~9月)			
①道路陥没を減らす	②閉塞による溢水を減らす	③苦情を減らす	特筆すべき活動・その他業務
	、カム達成状況をJV内部で共有。	また、毎月1枚ポートフォリオP3	・調査業務時に確認した破損等
事項 に実績入力。達成状況確	到 心。		の異常対応(蓋交換)及び緊急性
調査業務時に陥没予兆がある	 調査業務時に障害物(木根・モ	・作業案内配布のルール化及び	を安する事項の報告を行つた。
箇所を発見し、報告した。報告	ルタル・油脂・取り付け管突き出		
	し)がある箇所に関して除去作業		
い、陥没を未然に防いだ。	を行い、閉塞による溢水を未然		
	に防いだ。	・点検後の蓋のガタツキ防止の	
		ためクサビ使用推奨。 	
1		1	1

第三4半期(10月~12月)

①道路陥没を減らす ②閉塞による溢れ	Kを減らす ③苦情を減らす	特筆すべき活動・その他業務
共通 四半期報告書によるアウトカム達成状況をJV内事項 に実績入力。達成状況確認。		・次期ストマネ申請書について、 案を作成後、市と詳細検討。県 で への提出に助力。
箇所を発見し、報告した。報告 ルタル・油脂・取り付をもとに市が緊急修繕工事を行 し)がある箇所に関し	が休根・モ ・作業案内配布のルール化及では管突き出 内容見直し。(市からの委託業人で除去作業 務であることの説明強化)・JV内にて苦情情報の共有化・ 点検後の蓋のガタツキ防止のためクサビ使用推奨。	ストマネ詳細説明資料についても、作成・提出。

第四4半期(1月~3月)

①道路陥没を減らす ②閉塞による溢水を減らす ③苦情を減らす 特筆すべき活動・その他業務 共通 四半期報告書によるアウトカム達成状況をJV内部で共有。また、毎月1枚ポートフォリオP3 ・ストマネ見直し業務年間報告事項 に実績入力。達成状況確認。 調査業務今年度分終了に付き	<u> </u>			
事項 に実績入力。達成状況確認。 書作成 調査業務今年度分終了に付き 調査業務今年度分終了に付き 調査業務今年度分終了に付き 要因分析、中長期事業量算出 特になし。改築工事は、順調に 特になし。改築工事は、順調に 等になり、改築工事は、順調に 等になり、改築工事は、順調に 等になり、改築工事は、順調に (本)	①道路陥没を減ら	す ②閉塞による溢水を減ら	らす 3苦情を減らす	特筆すべき活動・その他業務
	共通 四半期報告書による 事項 に実績入力。達成状調査業務今年度分終了に 特になし。改築工事は、順	るアウトカム達成状況をJV内部で共 犬況確認。 こ付き 調査業務今年度分終了に任 頁調に 特になし。改築工事は、順詞	有。また、毎月1枚ポートフォリオP3 寸き 調査業務今年度分終了に付き 周に 特になし。改築工事は、順調に	・ストマネ見直し業務年間報告 書作成 (点検調査結果の可視化、劣化 要因分析、中長期事業量算出

(2)

目標達成シート

1. 要求水準(年間)

	アウトカム指標	JV管理値(60%)	JV管理値(80%)
道路陥没件数	15件	9件	12件
詰まり件数	95件	57件	76件
苦情件数	279件	167件	223件
通報から着手までの時間	2時間以内	2時間以内	2時間以内

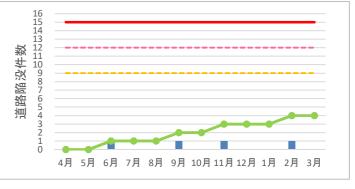
2. エビデンス

四半期報告書に詳細(苦情イン フォメーション)を記載

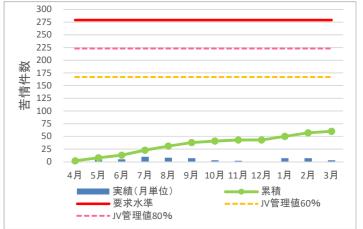
3. 道路陥没/詰まり/苦情件数(2020年度実績値)

		アウ	トカム	目標(件	数)		
月	道路陥没件数 管路閉塞件数 苦情件数			JV異常 報告件数			
	実績	累積	実績	累積	実績	累積	
4月	0	0	7	7	2	2	0
5月	0	0	1	8	6	8	1
6月	1	1	3	11	5	13	11
7月	0	1	2	13	10	23	4
8月	0	1	2	15	8	31	1
9月	1	2	2	17	7	38	0
10月	0	2	2	19	3	41	1
11月	1	3	1	20	2	43	0
12月	0	3	3	23	0	43	0
1月	0	3	3	26	7	50	0
2月	1	4	5	31	7	57	0
3月	0	4	0	31	3	60	0
合計	4		31		60		18
平均	0.3		2.6		5.0		1.5
1年目		0		27		43	6
2年目		6		39		132	30
3年目		4		31		60	18
4年目							
対象	·管渠延 (km)	長			1,28	0	

4. 実績値と基準値の比較図



数 80 数 70 管路閉塞発生 30 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月11月12月 1月 2月 3月



5. 評価者のコメント 【業務実施について特に問題もなく、順調に進んでいることが伺える。 折り返し地点に入ったが、一部業務で繰越業務も生じていることより業務計画の見直し・改善に努めてほしい。 業務の整理・工夫をしつつ、次年度以降も業務に励んでほしい。

(3)